

「造船技術者 社会人教育を受講して」 ～ 受講者の感想と要望 ～

「造船技術者 社会人教育」を受講された方々に対し実施しましたアンケート結果より、実際に社会人教育を受講された感想と要望をまとめてみました。

－ 受講した感想 －

- ・他社の技術者、大学の先生方と交流・意見交換できる良い機会となった。
- ・各分野のエキスパートである先生方の「考え方」に触れることができたことは非常に有意義であり、今後に生かしたいと思う。
- ・学生時代より緊張感があり吸収し易かった。今回、学んだ事を日常業務に結び付けられるよう日々意識して努力するようになった。
- ・会社あるいは独学で理論を学ぶことは不可能に近いので、社会人教育でちゃんと時間をとって勉強する機会をもてるのは良いことだと思います。
- ・計9コマ×90分だったが、5万円以上の価値があったと思う。
- ・同業他社の人達とグループに分かれての討議やプレゼンテーション等大変貴重な経験が出来た。
- ・大学の講義の復習も兼ね、自分の業務に対する基本的な内容を再確認できた。
- ・他の造船所の方々と交流でき、母校の先輩・後輩、また同級生とも久々に会うこともでき、充実した内容でした。
- ・業界のベテランの実体験に基づく実務的な話を聞くことが出来たことが、大きな利点。
- ・このような場は、知識の習得、同業他社の技術者との交流という意味で大変有意義であると思います。今後も是非続けて頂きますようお願いいたします。
- ・図面1つ見るにしても理論的なことを考慮しながら見るような意識を持てるようになり、十分受講した甲斐があったと思います。
- ・提出したレポートにコメントを頂けたことがよかった。
- ・基礎的なものからやや実務的なことまで幅広くご教示頂き、とても勉強になった。
- ・造船の生産現場に働く者として最低限の知識は必要と言う事を改めて痛感した

－ 講義内容・演習問題に関する要望 －

もう少し講義回数が多い方が良いと感じました。



6カ月の教育期間で計3回／3日のスクーリング(90分9コマ)を実施しておりますが、これ以上の講義回数の増加は講師の方々の都合を考えますと難しい状況にあります。

従って現状では、講義回数の増加は考えておりません。理解不足に終わった点につきましては、Eメールでの補習を実施したいと考えております。

もっと、受講コースを増やして欲しい。



受講者及び各社担当者の方々から、広く利用者のニーズを聴取し、順次、新たなコースを開設していきたいと考えております。

受講者レベルに応じて、コース内でクラス分けして欲しい。(初級・中級・上級等)



クラス分けについては、担当講師の負担増加や増員等、種々問題がございますが、今後、各コースの担当講師と相談の上、検討していきたいと考えております。

講義については、もう少し内容を絞った上で実例や実務で生じた問題点を取り上げるなど、もう少し実務に対応した内容を取り入れてほしい。グループ内でのディスカッションなど参加型にすればより実践的なものとなり、理解も深まるのではないのでしょうか。また、演習問題については、解答がどう評価されたのかなど十分なフォローを行って欲しい。



講義の内容・進め方及び演習問題等については、担当講師と相談しながら、今後とも改善に努めて参ります。

学問的な観点からの講義も重要ですが、例えばベテラン設計者による設計テクニックの講義など、メーカー技術者、サービスエンジニア、運航関係者による講義も取り入れて欲しい。



実務経験者の講師については、今後、各コース担当講師と相談しながら、検討していきたいと考えております。

会場が造船所の場合、造船所見学もできたら、もっと有意義になると思いました。



造船所の見学につきましては、御依頼する造船所の都合によりますので、必ず実施できるものとは限りません。受講者の希望を伺いながら、会場となる造船所と相談していきたいと考えております。

－運営等全般に関する要望－

前日入りを余儀なくされる遠い場所での開催は、仕事との調整が難しいのが現状です。スクーリングの開催場所については考慮して頂きたい。



開講式と第1回スクーリング、閉講式と第3回スクーリングについては、全体で集まる必要があることから、地域的に中心である関西地区にて開催することにしております。また、コース毎に開催される中間スクーリングについては、各コースを受講される方々の所在分布状況とその地域に所在する造船所の都合等を勘案し、開催場所を決定しています。

教室が狭く窮屈であり、また座席が固く座り心地があまり良くないので、快適に講義を受講できる環境を整えて欲しい。



教室につきましては受講者数が多いコースから順に広い教室を割り当てておりますが、広い教室にも限りがございますので、すぐに改善を図ることは正直難しいのが現状です。

今後の検討事項とさせていただきます。

座席につきましてはミニクッション等を持参して御対応頂ければと存じます。

懇親会は受講コース毎にテーブルを作って頂いた方が、同じコースの受講生と親睦を深められるので、検討して頂きたい。(現状だと誰が同じコースを受講しているのかわからない)



受講生の数と会場の規模を考えるとコース毎にテーブルを用意することは非常に難しいところではありますが、今後、設営担当者と相談しながら検討していきたいと思っております。

また、第10回から受講生に配布する名札をコース毎に色分けし、誰が同じコースを受講しているのか外見で判断できるように改善致しました。

初回(4月)と最終回(9月)のスクーリングは全コース大阪大学で開催されるようですが、中間スクーリング(6～7月開催)についてはコース毎に開催日時・場所が異なると伺っております。受講コースを決める際の参考にしたいので、コース毎の過去の実績を事前に教えて頂きたい。



各コースのシラバスに過去3年の開催実績を記載いたしました。

「造船技術者 社会人教育センター」に関するご意見・ご質問は <mailto:shakaijin@sajn.or.jp> までお願い致します。